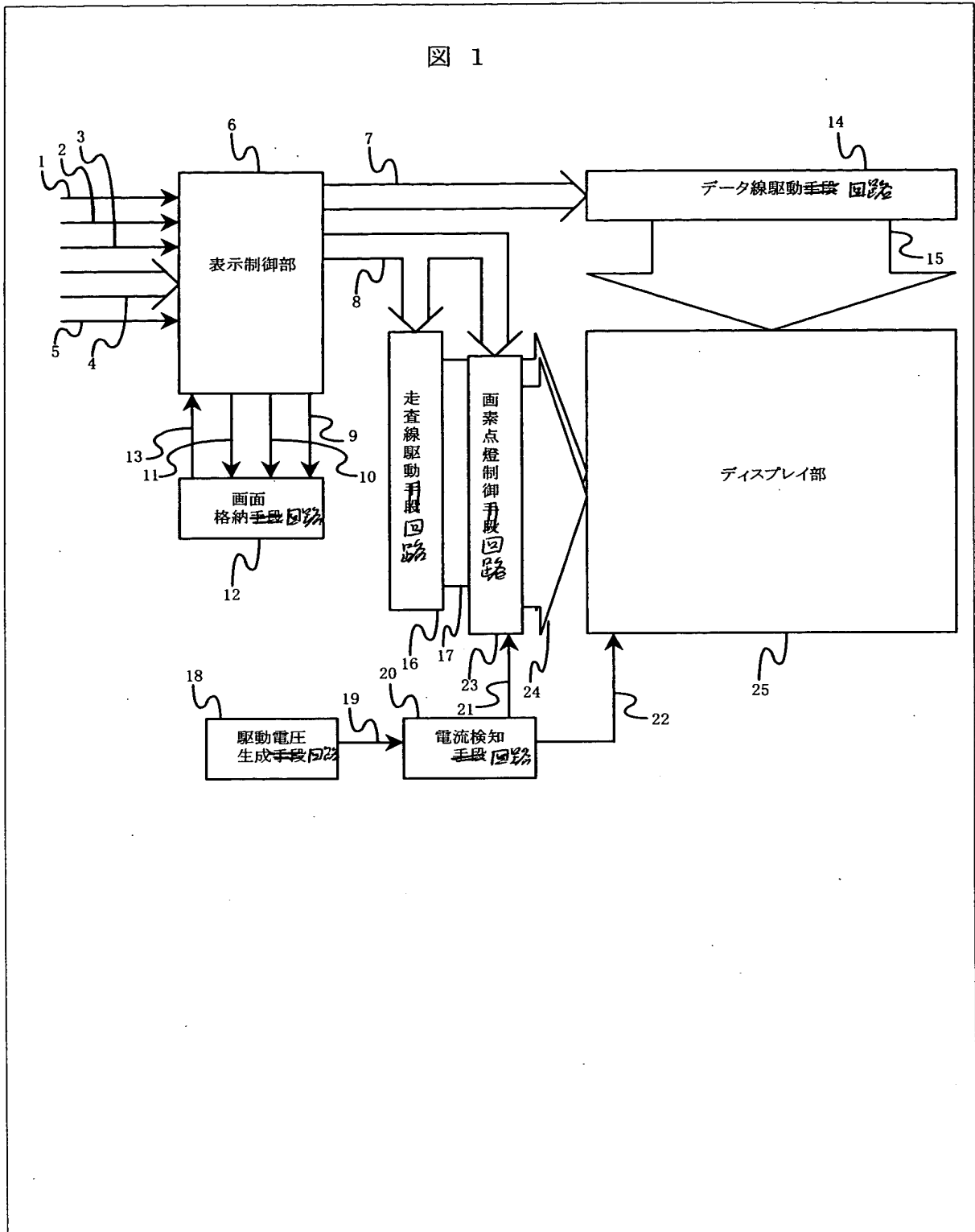


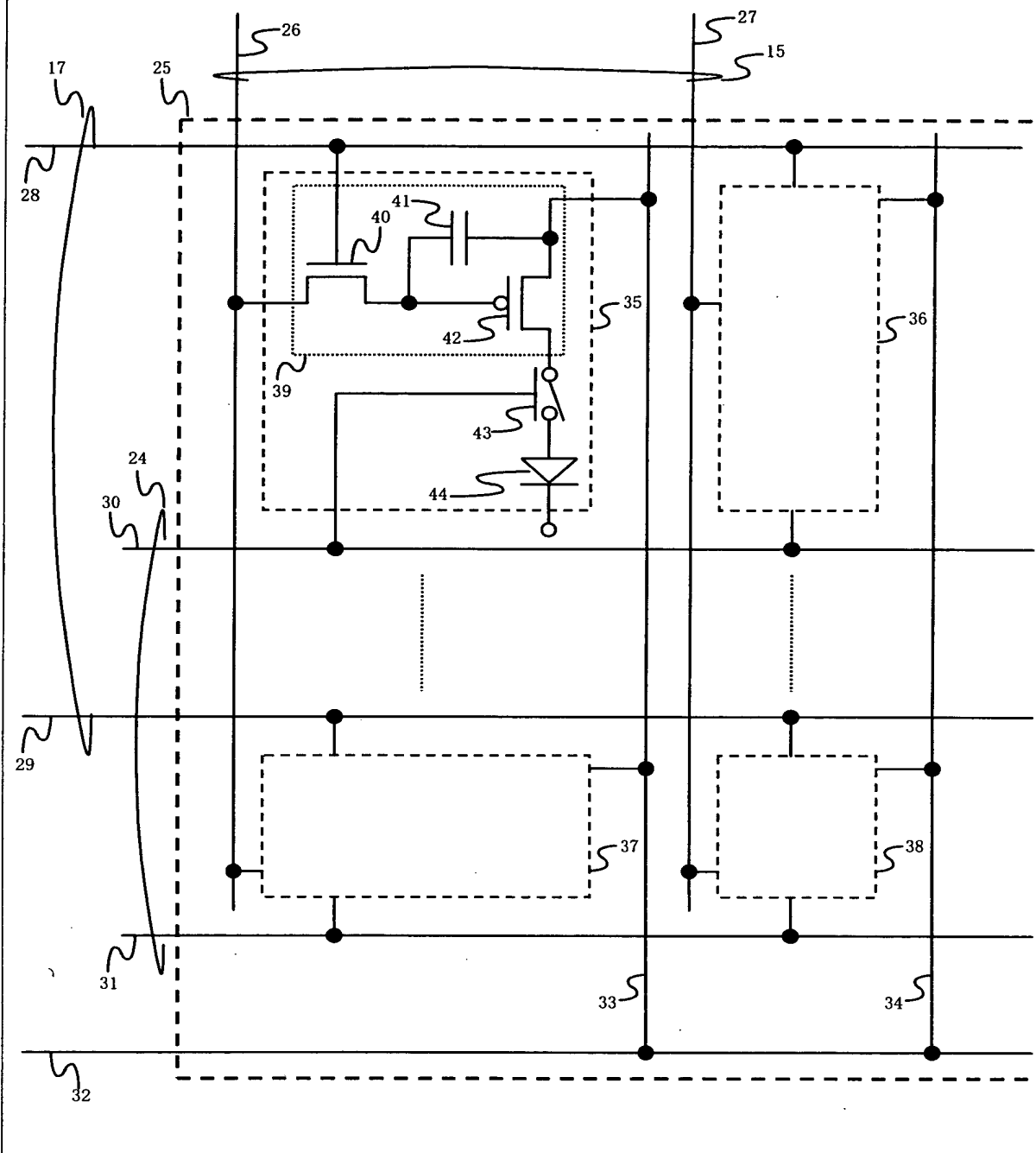
図 1



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

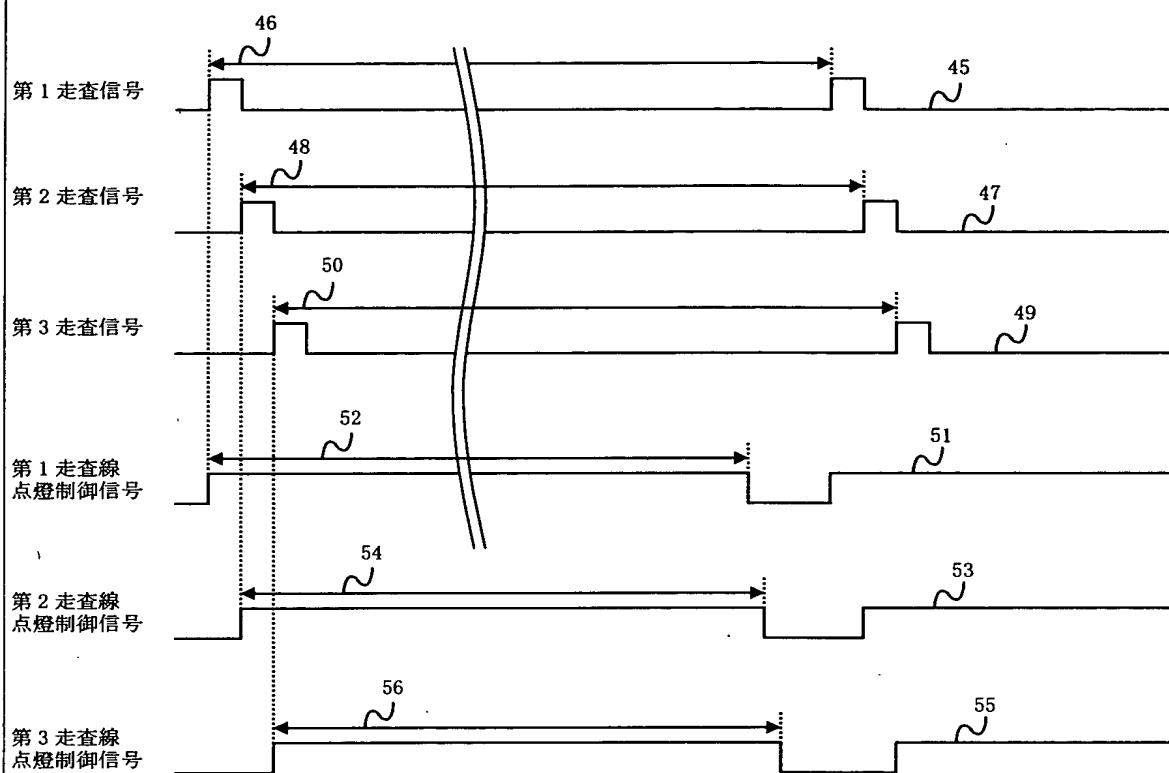
図 2



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの使用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

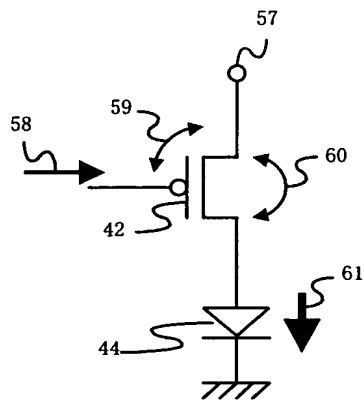
図 3



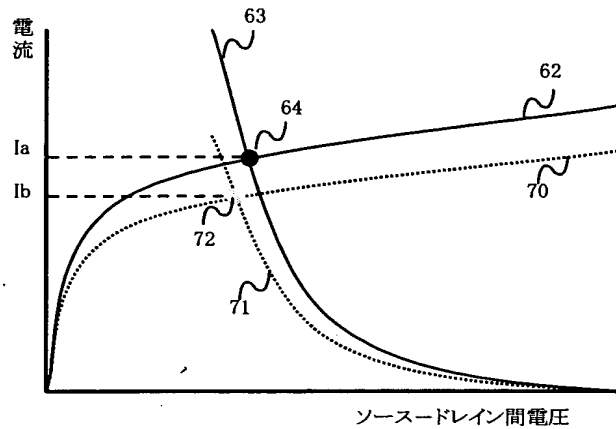
作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows



~~図 4 A~~
図 4 A



~~図 4 B~~
図 4 B

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号 (アラビア数字) は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内 (縦) 215mm × (横) 148mm に納める。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 20mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ (200dpi) で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく (12ポイント程度以上) する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

~~図 5~~

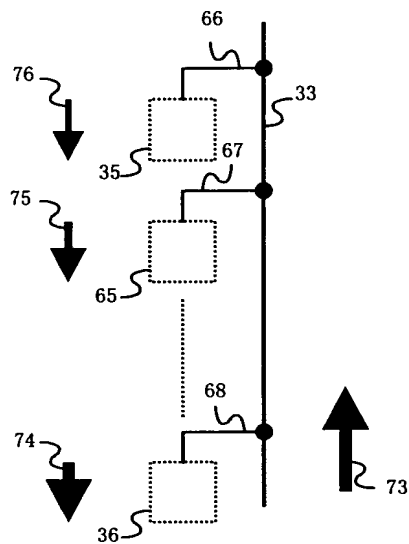


図 5A

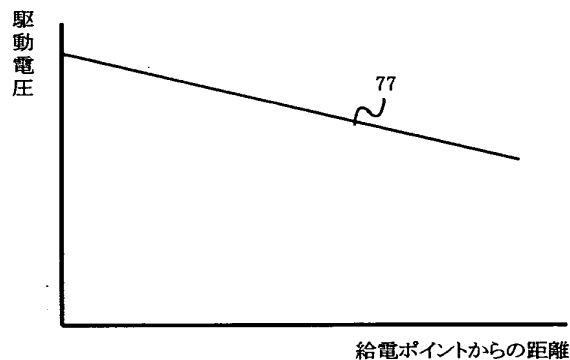


図 5B

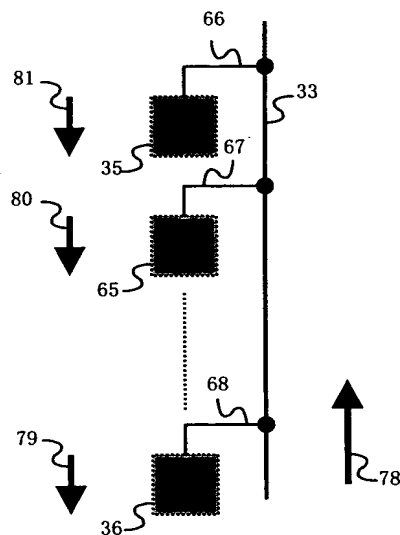


図 5C

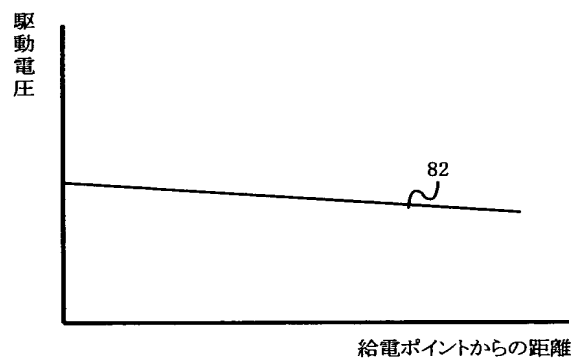
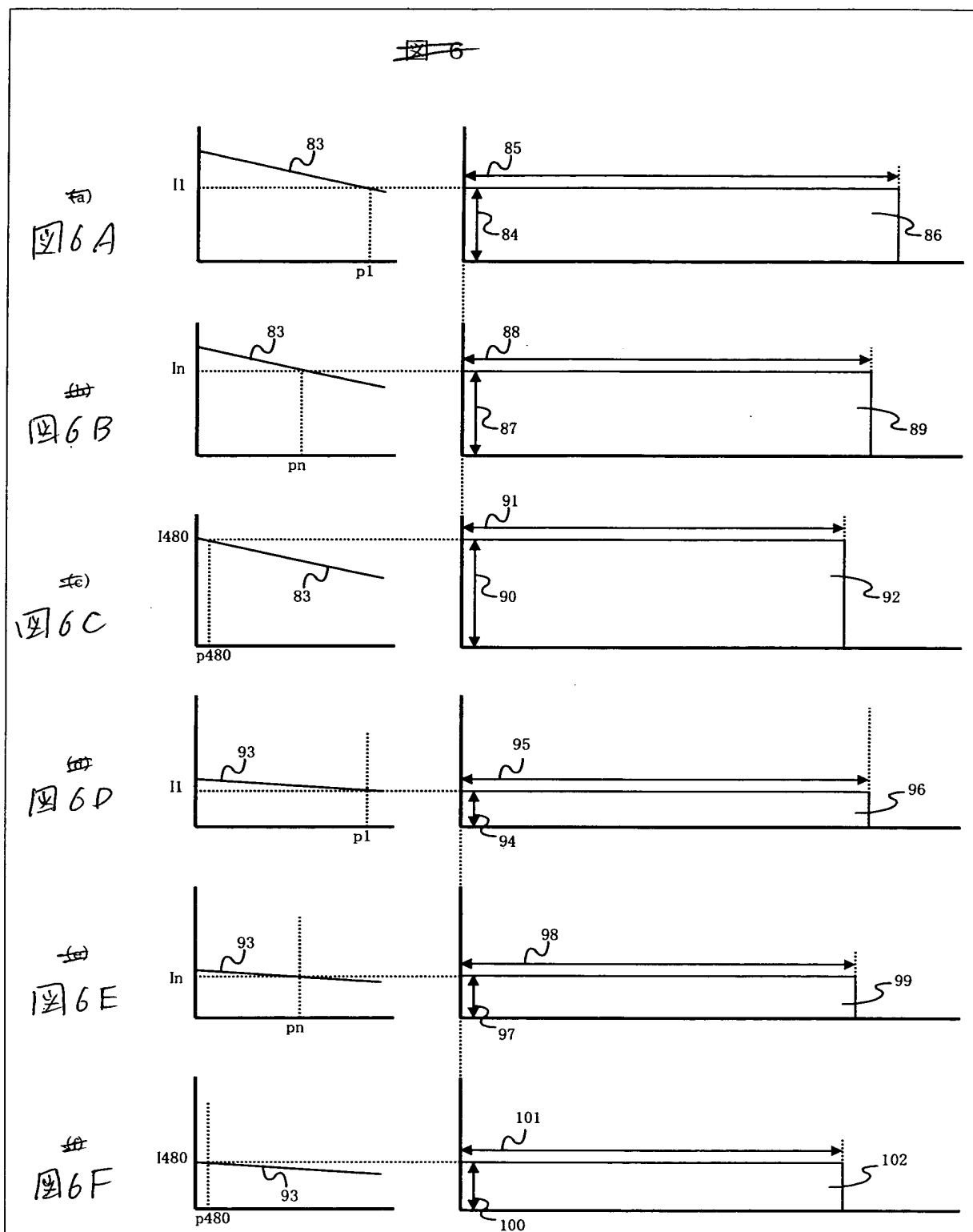


図 5D

作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

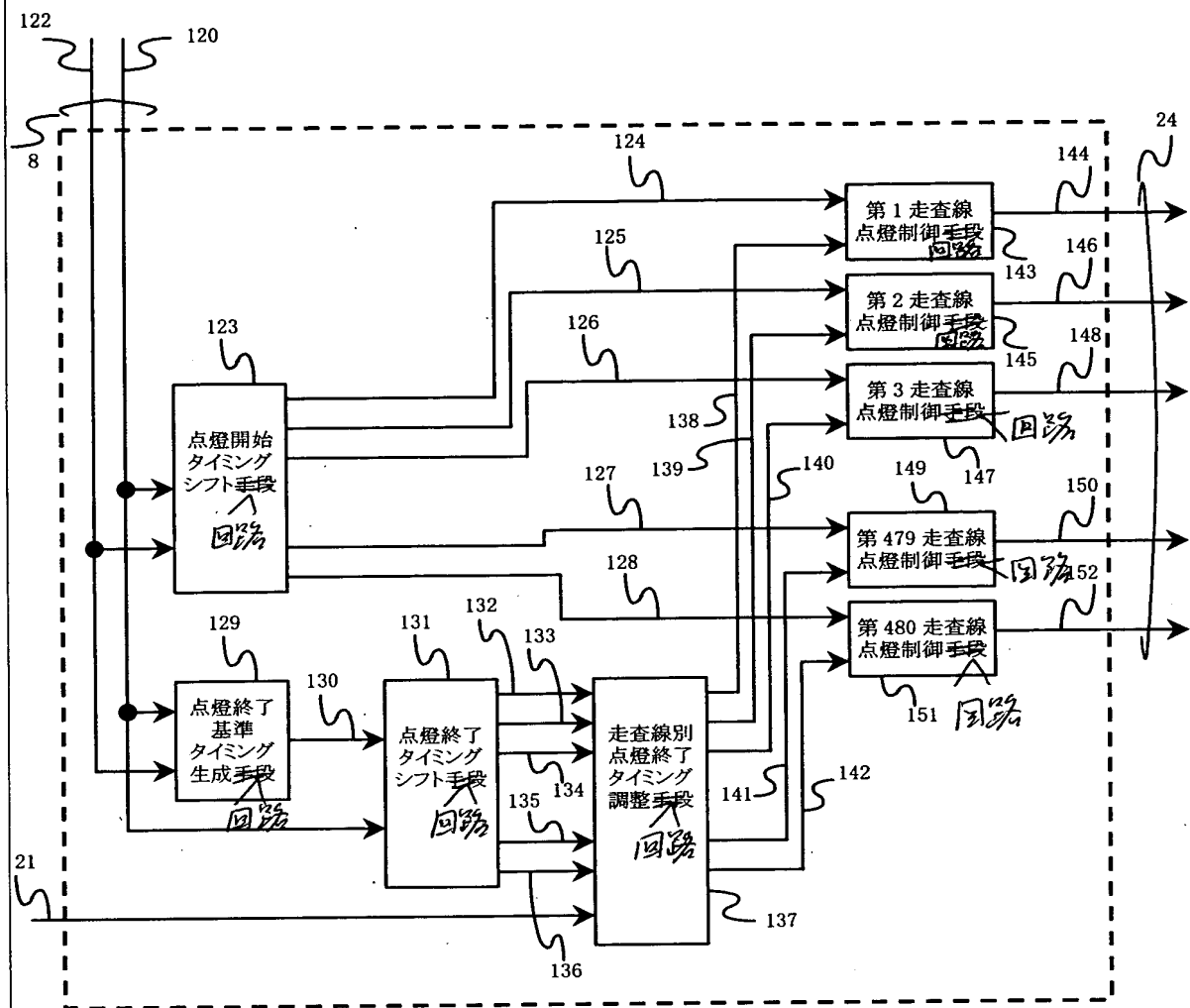


作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図 1 とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図 1、図 2 のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が 2 以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦) 215 mm × (横) 148 mm に納める。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を 20 mm はなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200 dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12 ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面は A4 サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

図 7

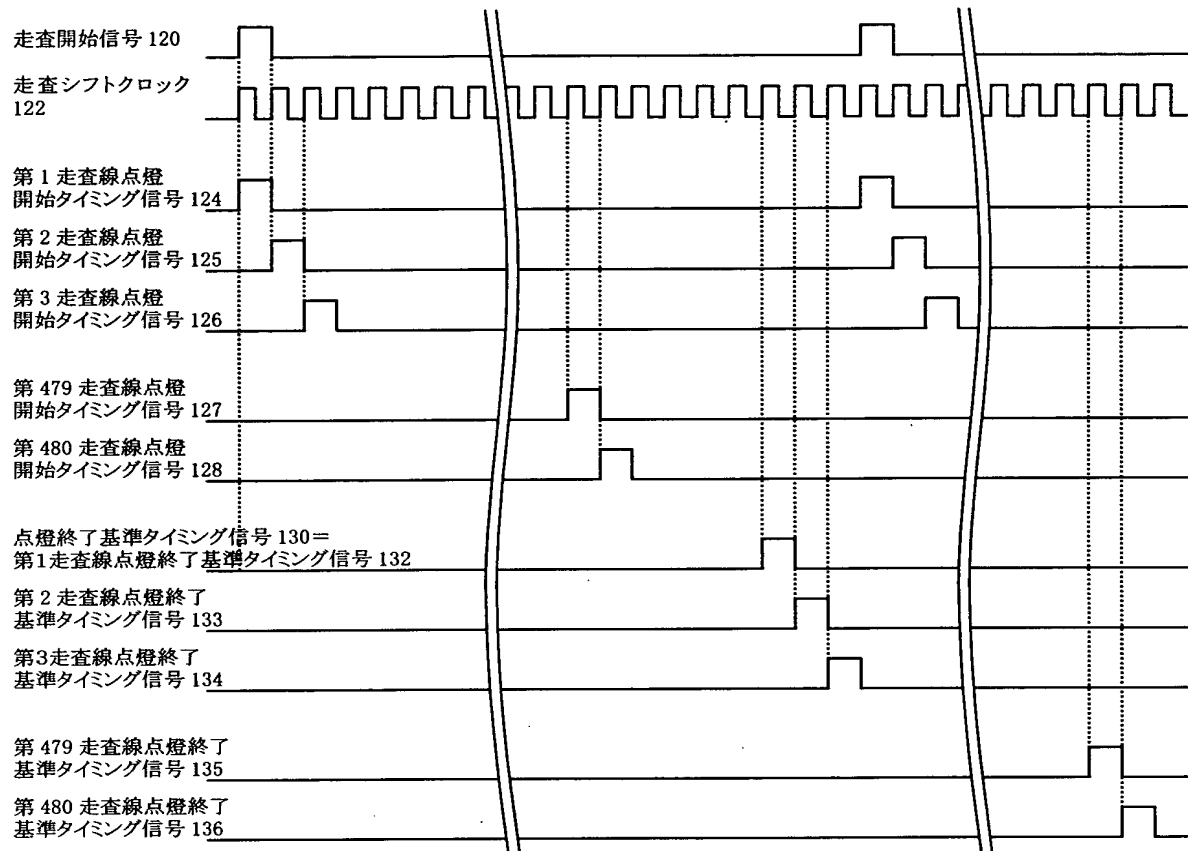


作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

電子出願図面用紙 for windows

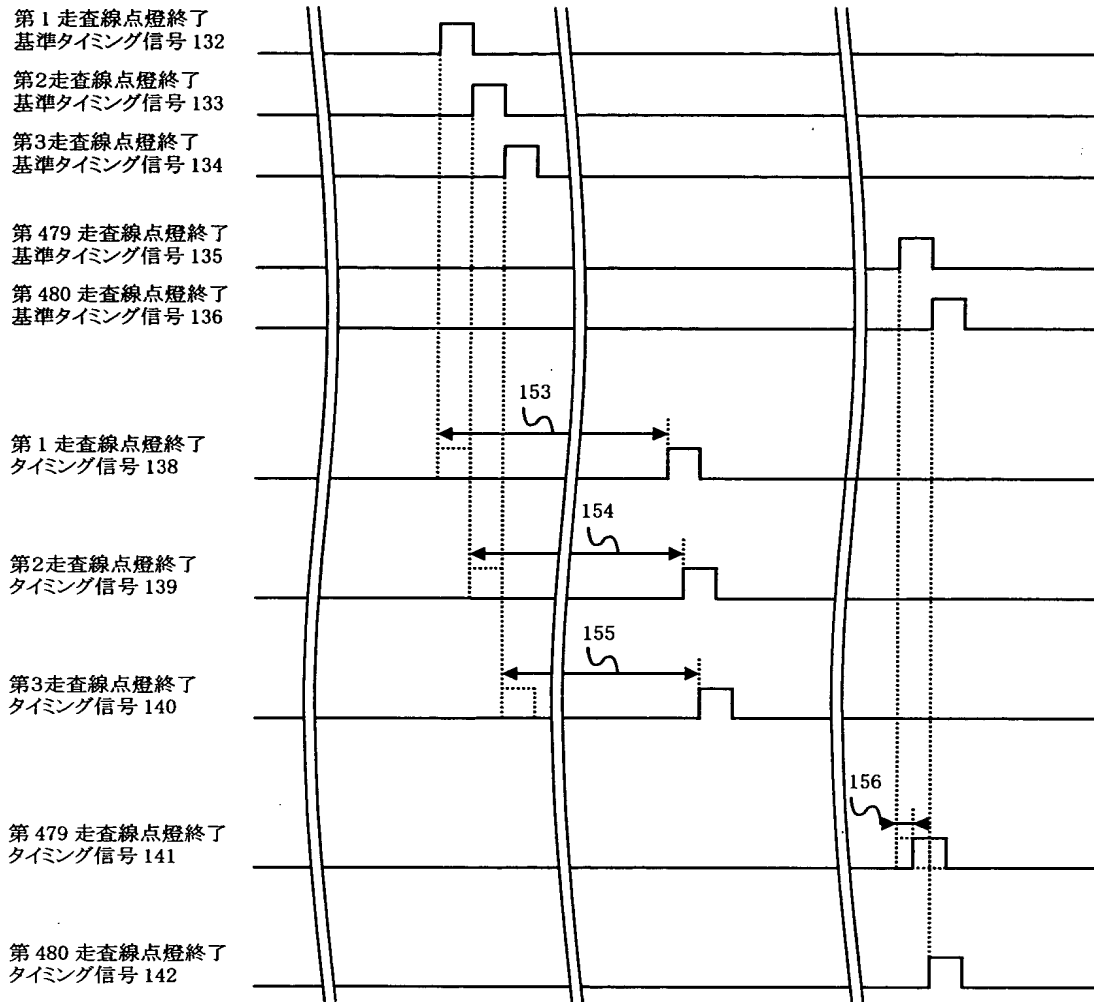
図 8



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

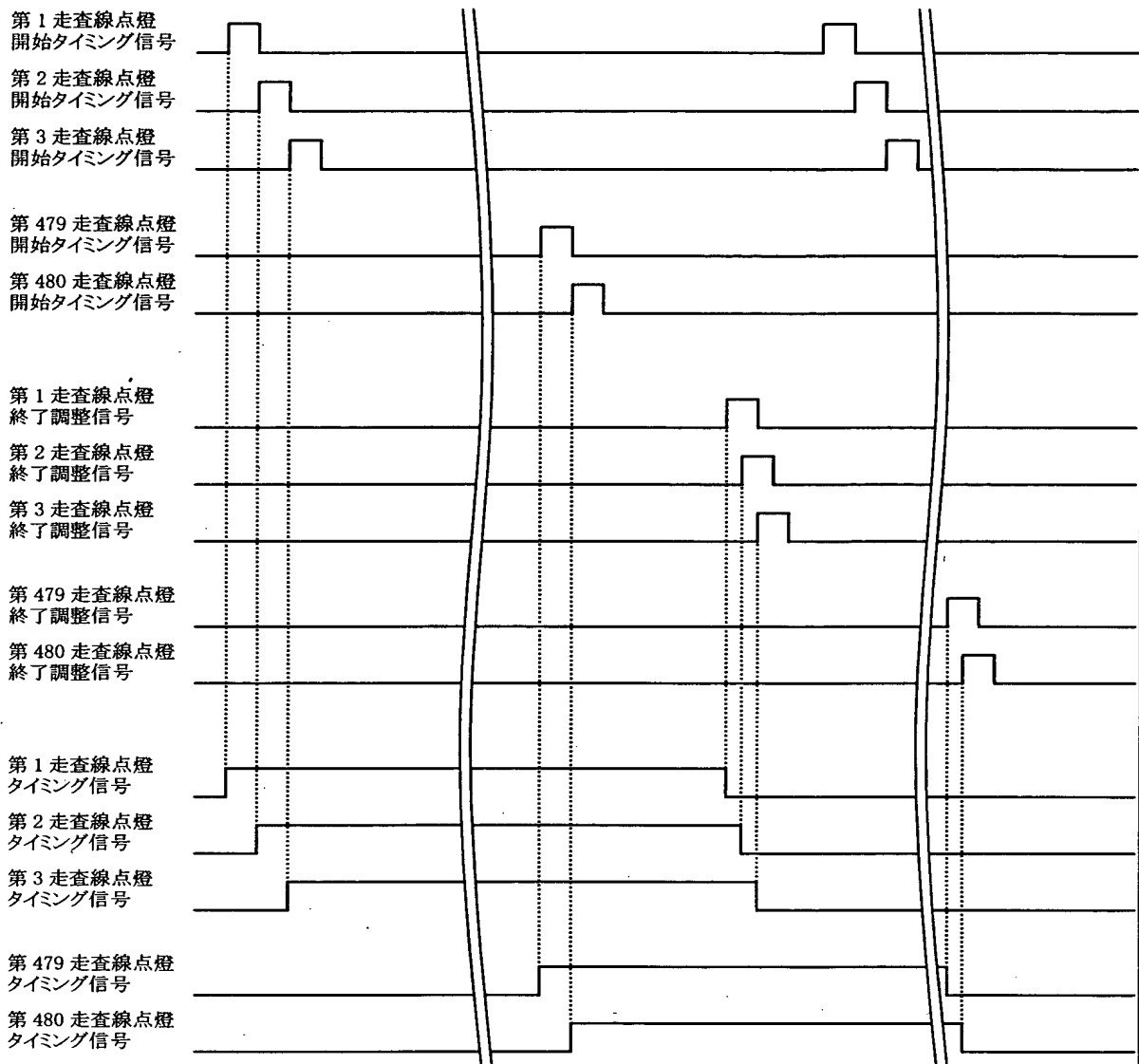
図 9



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

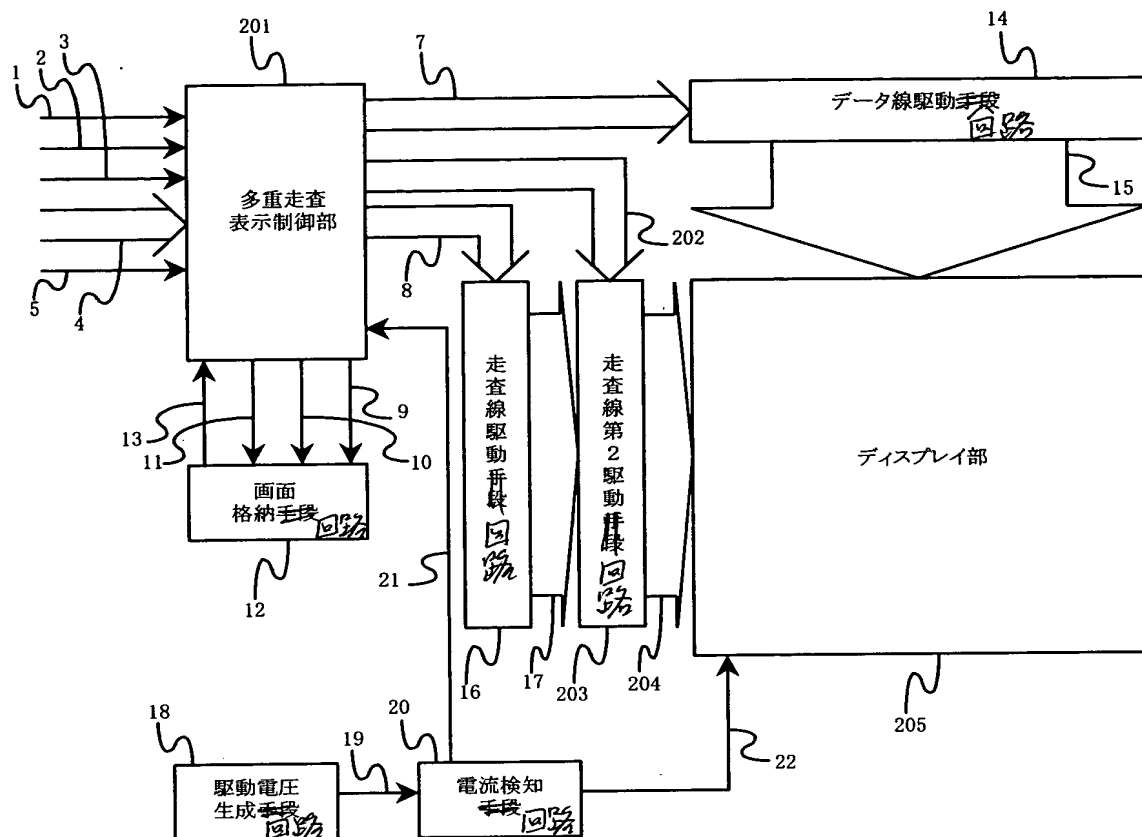
図 10



作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上配枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズ用の紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

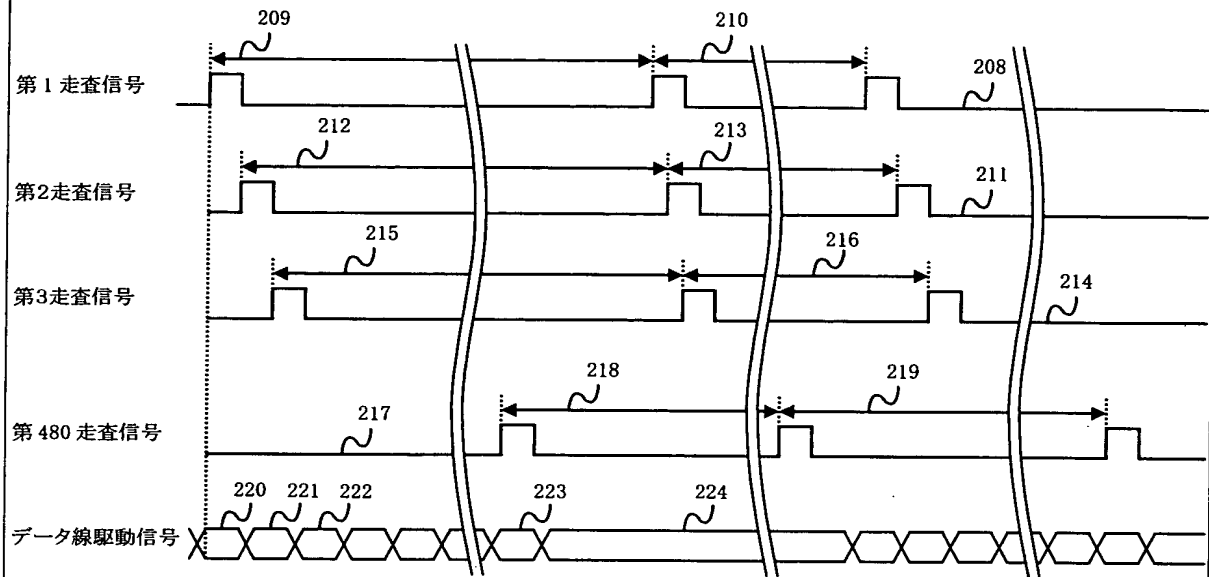
図 11



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリターダ(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズ用の紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

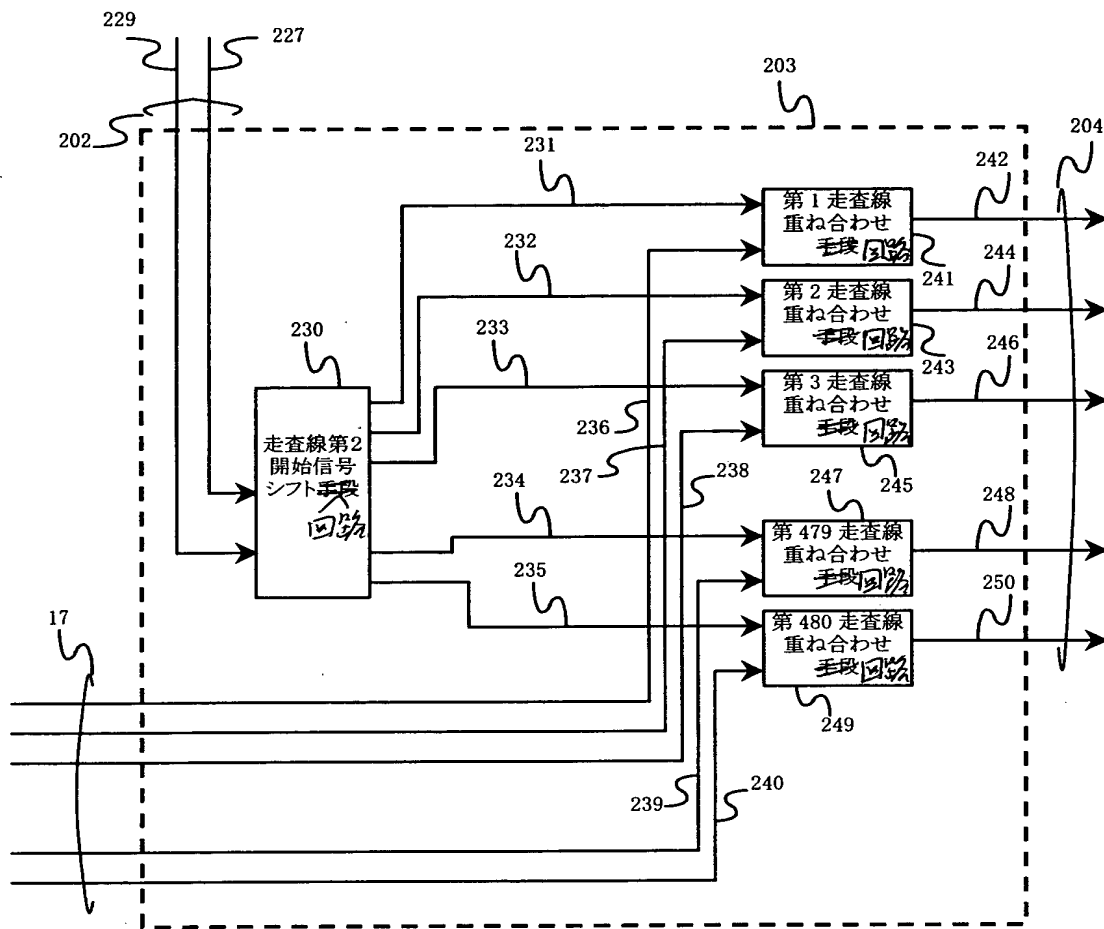
図 12



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を2.0mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

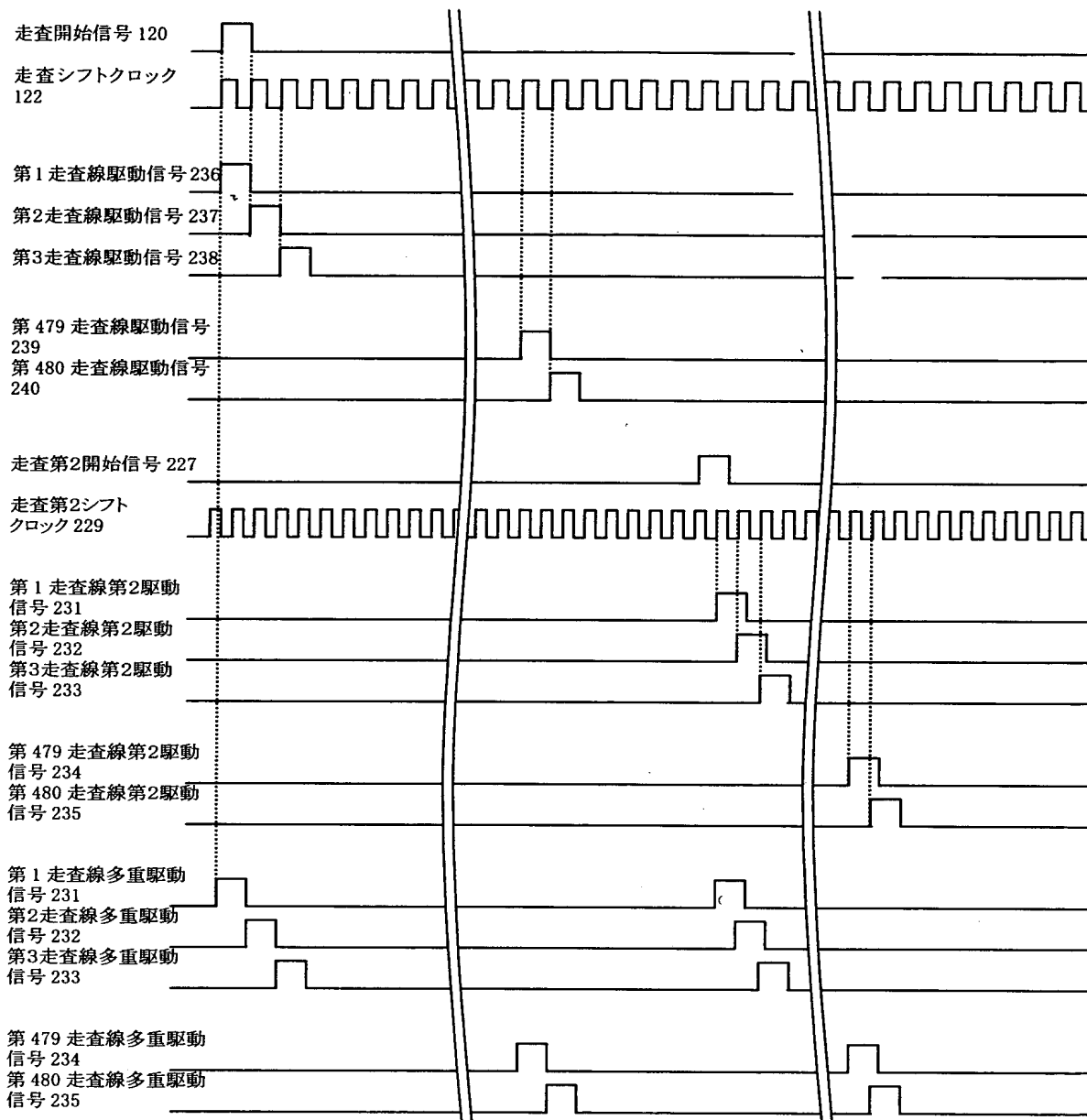
図 13



作成上の注意

1. 発明の特徴を最も良く表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を引いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mmに納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。

図 14



作成上の注意

1. 発明の特徴を最もよく表す図を図1とする。
2. 各図ごとに、図の上側に図1、図2のように連続番号を付し、番号順に配列する。
3. 中心線は記入しない。
4. 符号(アラビア数字)は引出線を書いて記入する。
5. 符号は○枠で囲まない。また符号はできるだけ大きくする。
6. 同一部分が2以上の図にある時は、同一の符号を各図に付ける。
7. 図面は上記枠内(縦)215mm×(横)148mm)に納める。
8. 図1、図2などの表示は図の上側中央部に入れる。
9. 枠内に二つ以上の図を入れるときは縦方向に分け、各図面の間を20mmはなすこと。
10. 図面は電子出願端末のイメージリーダー(200dpi)で読み込まれるため次の点に配慮する。
 - a. 図面中の文字、符号はできるだけ大きく(12ポイント程度以上)する。
 - b. 断面を示す部分には、ハッチングを施す。塗りつぶしてはならない。
11. 図面はA4サイズの用紙に縦長にプリントする。
12. 表、数式も上記に準じて作成する。